

ワカメ養殖経営構造の解明

ね ら い：漁業協同組合及び行政等のワカメ養殖業振興施策の一助に資する。

成果の特徴： 減産や養殖漁家の減少は、平成 2 年以前は高齢化や一時期に労働が集中する過重労働が主要因で、平成 3 年以降はこれに加えて価格低下も起因している（図 1、2、表 1）。

期間集約的労働、高齢化問題、高い雇用費の解決には機械化が重要と考えられた。しかし、漁家経営は、家内手工業的で収益性が低く、労働を代替する機械の開発や投資が困難な状況である。省力化機械の導入には漁協、自治体等の支援が必要である。

他県の大規模海藻養殖経営体は、過剰投資気味で、収益性が低下しているのが現状である。従って、岩手県で規模拡大する際は、経営管理(分析)の吟味が重要と考えられた。

成果の活用面：効率的な振興施策推進によって、漁家労働及び経営の改善が図られる。

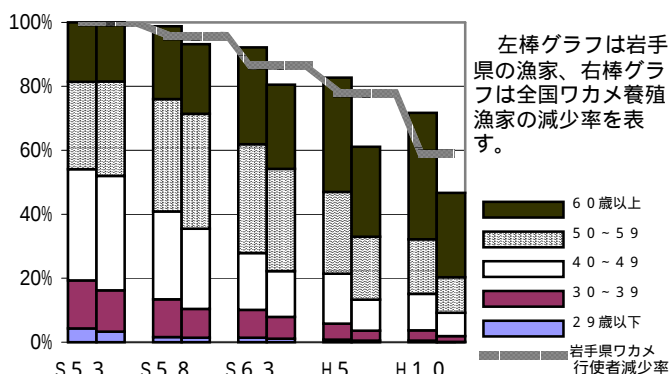


図1 岩手県漁家数と全国ワカメ養殖漁家数減少率

注) 漁業センサスデータ：岩手県漁家数は主幹的漁業データ、ワカメ養殖漁家数は経営体階層別データを利用

資料：漁業センサス（農林水産省）、岩手県浅海養殖施設

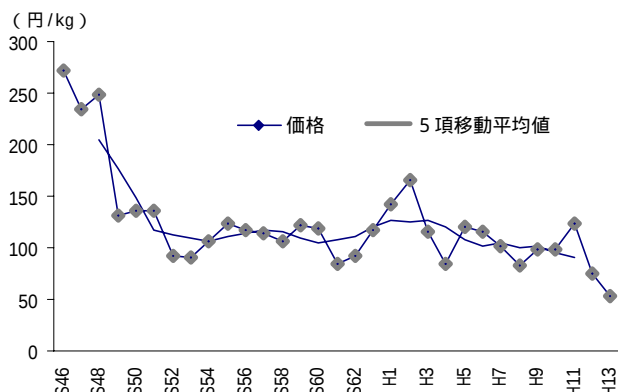


図2 岩手県産ワカメ価格

注) CPI(魚介類)(H12=100)によってデフレートした。

資料：全漁連・岩手県漁連資料

表1 作業別投下労働時間

*1:先枯/元茎切除作業時間を含む。*2:生ワカメ換算重量とした。岩手県水産技術センター利用加工部の換算係数を利用した。

	生		湯通し塩蔵	
	時間	比率	時間	比率
採苗	18	2%	11	0%
養殖施設保守	98	9%	105	4%
保苗管理	39	3%	37	1%
本養成の準備作業	64	6%	92	3%
施設管理	11	1%	15	1%
採苗器作製	26	2%	24	1%
	74	6%	144	5%
	175	15%	227	8%
し・塩蔵・芯抜 ^{*1}			2,020	73%
れ/元茎切除	557	49%		
施設掃除・引揚	44	4%	55	2%
その他	32	3%	36	1%
総投下労働時間	1,139	100%	2,768	100%
生産量 ^{*2}	30,233		22,666	

担当者	企画指導部 専門研究員 宮田 勉
連絡先	0193-26-7914 FAX0193-26-7920 〒026-0001 岩手県釜石市大字平田第3地割75番3号 ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/